

実習チェックシート 通しの全身診察の型	所属 名前
-------------------------------	----------

目的：「的を絞った身体診察」および「通しの身体診察」をそらでできるようになる。

「簡潔にする」「型にする」をキーワードとして念頭に置いた診察ができるようになる。

所要時間：150分

物品：消毒液、聴診器、ペンライト、舌圧子

[1] 模擬患者を設定して、動画と同じ手順で「的を絞った身体診察」および「通しの身体診察」を行ってみましょう。

【チェックリスト】

<身体診察総論>

- 名札を見せ、患者の目を見て自己紹介する
- 患者の名前と生年月日を聞き患者確認をする
- 手指消毒を行う
- ドレーピングやプライバシーの配慮を行う
- 患者の全身状態・バイタルサインを把握する
- H&P 症例か ABC 症例かを適切に判断する
- サマリーステートメントを確認して診察に入る
- 問診やバイタルサインをもとに第一印象を把握し、鑑別疾患を頭の中で列挙する

<的を絞った身体診察：目標 10分>

- 手の診察：末梢の冷感（-/+）
 橈骨動脈の脈の評価（微弱 / よく触れる / 不整 など）
- 眼の診察：眼瞼結膜の貧血（-/+）
 眼球結膜の黄疸（-/+）
- 頸静脈の大まかな評価：明らかな怒張（-/+）、虚脱（-/+）（※この2点のみを迅速に把握する）
- 呼吸の診察：努力呼吸（-/+）、呼吸補助筋の使用（-/+）
 呼吸音（右・左 上・下 肺野に coarse crackles / fine crackles / wheeze / 呼吸音の減弱）
- 腎・泌尿器の診察：CVA 叩打痛（-/+）
- 心音の評価：明らかな雑音（-/+）
- 腹部の診察：軟 / 硬、平坦 / 膨満、圧痛（-/+）、恥骨上の圧痛（-/+）
- 下肢の診察：浮腫（-/+）、左右差（なし / あり）